会報 45号

NPO法人 お互いさまネットワーク

２０２２年（令和４年）7月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
ｔｅｌ．０２７６（７０）１３２６
ｆａｘ．０２７６（７０）１３２７
http://otagaisamaegao.net/

＝＝ 理　念 ＝＝
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

＝＝ 指　針 ＝＝
① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい職場づくりに取り組む事業所認定

ぐんま介護人材育成宣言

～～～～　令和4年度取り組みの重点　～～～～
① 安全な事業活動で利用者・家族や地域住民の生活に貢献する
② 法人の安定経営を前進
③ 働きやすい職場の構築　計画策定⇒実施

第23回　定時社員総会報告　令和4年5月11日

令和3年度の活動概要　と　令和4年度の事業

令和元年、2年度と損失を計上したことから令和3年度は利用者確保を意識し活動してきました。その結果、当年度利益は予算297万円に対し実績619万円となりました。
働きやすい職場の構築を目指して令和3年8月に全職員で雇用管理改善チェックリスト25項目を実施しました。このリストに基づき2項目の改善項目を決定し、令和4年度に改善実施します。
コロナ禍で増加する虐待から被害者を守るために「虐待一時避難所」の設置を目標に掲げていました。館林警察、館林市、群馬県と話し合いを重ね、令和3年12月から運営を開始しました。現在まで5件の利用があり、必要性を実感しています。
令和4年2月15日「多機能ケアの喜楽」にてクラスターが発生し、最終的には利用者11名、職員6名の感染となりました。一時的に訪問サービス以外を中止し、感染が収束した3月1日から運営を再開しました。利用者やそのご家族には大変なご迷惑を掛けてしまいました。

令和４年度の事業計画について、下記が5月11日の社員総会にて承認されました。
① 安全な事業活動で利用者・家族や地域住民の生活に貢献する
② 法人の安定経営を前進
③ 働きやすい職場の構築　計画策定⇒実施

この総会の承認に基づいて、令和４年度の新たな活動を展開します。
また、令和3年度は長期目標「法人戦略5年後ビジョン」の最終年度となっており、5年間の評価と新たな「5年後ビジョン」の策定を行いました。新たなビジョンは下記の通りです。
① 年1回の講演会を行い福祉医療・住民関係者と連携を深める。
② 現在取り組んでいない活動を2つ以上展開している。
③ 職員数100名を超えている。

令和3年度収支決算　（単位：千円）

収入実績	費用実績	差額
262,387	256,194	6,193

令和4年度収支予算　（単位：千円）

収入予算	費用予算	差額
269,335	263,010	6,325

支え合い活動

支え合いの家事援助には、買い物・掃除・洗濯・ゴミ出し・代理診察（お薬届け）等々に加えて「片付け」があります。利用者さんの気持ちに寄り添いつつ長年溜め込んだものを着実に処分するのが目的ですが、いろいろなストーリーや愛着があり困難を極めます。「まだ使える、まだ着られる、これは高かったから・・・」何年もの間そこに置かれ、1ミリも動いていないものでも中々ごみにするのは躊躇われます。時間はかかりますが、利用者さんに納得していただけるような"片付け"ができるとよいと思います。
いつか、誰かがやらなければならないことですからね。

協力会員募集中! TEL 0276-74-8286　担当　坂田まで

ケアプラン介護相談の喜楽　第１回コラム
「訪問診療と往診の違いについて」
ケアマネージャー　陶山典子

今年度は、介護保険サービス以外の在宅で受けることができるサービスを3回に分けて紹介していこうと思います。

病気で入院しても急性期が過ぎれば退院となります。脳梗塞で歩行が出来なくなってしまった、認知症が進行し薬の管理が大変等、今まで出来たことが出来なくなり退院となることがあるかもしれません。今回はその中でも在宅で安心して生活できるためのサービス「訪問診療」と「往診」の違いについてご説明します。

「訪問診療」とは、計画的な医療サービス（=診療）を行うことです。毎週〇曜日〇日にと約束して医師が訪問の上、診療することです。1週間ないし2週間に1回の割合で定期的かつ計画的に訪問し、診療・治療・薬の処方・療養上の相談、指導等を行っていきます。尚、急変時には緊急訪問に伺ったり、入院の手配を行ったりするなど臨機応変に対応することからも、「第1のかかりつけ医」として、多くの場合、24時間体制で在宅医療をサポートするのが訪問診療の特色です。

「往診」とは、通院できない患者の要請を受けて、医師がその都度診療を行うことです。突発的な病状の変化に対して救急車を呼ぶほどでもない場合など、普段からお世話になっているホームドクターにお願いしてきてもらうので、基本的には困ったときの臨時の手段です。

訪問介護の喜楽

今年は例年にない早い梅雨明けとなり、ヘルパーにとって過酷な時期がスタートしました。訪問時には熱中症予防の声掛けをし、適切にエアコンを使用してもらい、水分補給を促しております。利用者さん自身も気を付けてくださる方が多くなりました。中には「ヘルパーさんを第一発見者にはしたくないからね」と言ってくださる大大先輩（９８歳）もいらっしゃいます。
しっかり食べて、十分な睡眠をとり、お互い体調管理に気を付けながらこの夏を乗り切りましょう。

よってこ松沼

長らく活動を休止していたよってこ松沼ですが、月・木曜日の10時から16時で運営を再開しました。初日から多くの方にご利用いただき、また皆さんのお顔を見ることが出来て大変うれしいです！地域交流の場として盛り上げていきます。
屋外での体操、音楽も行っています。これから暑い季節、ご無理は禁物です。水分を取りつつ適度に楽しんでいきましょう。

グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ

今回は、グループホーム喜楽の今年度の目標をご紹介します。
①きれい綺麗運動の実施（ごみ拾い・道路沿いに花壇を作る）
プランターに植えた花を楽しみながら散歩をします。
②ゆとりのある介護の実践
ゆとりとは何かを職員で考えた結果、利用者さんを「待つ」介護をすることにしました。
③リフレッシュ休暇を取る
グループホームは年中無休のため長期の休暇が取れないので、4日程度の連休を取りリフレッシュします。

らっきょうを漬けました！
皆で皮をむいて味を付けて、2週間ほどで食べられます。

味見をお願いすると…
「おいしい！」

ホームページでブログ更新中です。ぜひ、ご覧ください。

【きれい綺麗運動】
お年寄りの大好きな花を皆と一緒に植えています。季節に合わせていろいろな花が咲くのを見ながら散歩するのが楽しみです。

マリーゴールド、
日日草、ジニア
ガザニア…
次は千日紅を植える予定です。

デイサービスセンター喜楽

デイサービスセンター喜楽ではより良いサービスが提供できるように年に2回、アンケートのご協力をお願いしています。サービス内容・職員の態度・連絡体制など22人中15人にご回答いただき、ほとんどの方が「満足」との回答でした。「心豊かに過ごせるのは皆さんのおかげ、感謝しかないです。」「皆様が優しくご丁寧で家族一同本当に助かっております。」とその他にも貴重なご意見を沢山頂戴し、職員一同励みになっております。
今後も利用者さん、ご家族の期待に添えるサービスが提供できるように努めて参りたいと思います。

地域密着デイの喜楽

地域密着デイの喜楽では苗植えや収穫の時期が分かるように畑の予定表を作りました。利用者さまと一緒に苗植えから収穫、調理まで行い予定表へ写真を貼っています。畑を見ては「どのくらい大きくなった？」「元気に育っているね」と野菜の成長を楽しまれています。
また、七夕では願いを込めて短冊などの飾りつけをしました。

多機能ケアの喜楽

多機能ケアの七夕祭り2022！！今年は趣向を変えて、中庭の日よけネットに願い事の短冊とお星さまを飾り付けてみました。7月7日当日は曇りだったので、中庭にいすを置いてみんなで七夕飾りを見上げながらシャボン玉大会を開きました。シャボン玉が飛ぶたびに周りから「わー、きゃー」と歓声が上がりました。
その日のおやつは手作りパフェ！皆さん美味しそうに召し上がりました。好評だったので翌日も七夕祭りを行いました(笑)